

広 報

かみはちまん

第 16 号

令和5年3月31日

発行所

上八万コミュニティ協議会

〒770-8040

徳島市上八万町樋口61

TEL(088)668-6392



二十歳を祝う会

令和5年 上八万地区二十歳を祝う会 2023年1月8日

上八万地区 二十歳を祝う会

二〇二三年一月八日、

新たな人生の門出決意も新たに大人の第一歩を踏み出した二十歳の皆様おめでとうございます。

上八万地区該当者六十二名のうち四十六名の方が二十歳を祝う会に出席されました。男性スーツ姿、女性は和服姿で館内は一段と華やかな雰囲気になりました。検温、マスク、手指の消毒等コロナ対策を十分しながら館内に入場しました。

式典では御来賓からご祝辞をいただき六年生時担任の先生からは心のこもったメッセージをいただきました。二十歳を代表して記念品贈呈受け取りは石井花佳さん、謝辞は村上純平さんが行い「社会の一員として責任ある行動をし向上心を持つ

て新たな挑戦をしていきたい」と力強く誓われました。

式典は短時間で終了し記念写真撮影を行いました。茶和会はできませんでしたが庭で友達と写真をとったり、昔話をしたり有意義に過ごしていただきました。



二十歳を祝う会 謝辞 村上純平

幼き頃から支えてくれた家族、友人、熱心に指導し私たちを導いてくれた先生、地域の皆様、私たちはこれからも一人一人が感謝を忘れず一生懸命生きていきます。
ありがとうございます。
（一部割合させていた
できました。）



おめでとう

令和四年度
徳島市地域貢献高齢者
顕彰表彰受賞

令和四年十月一日、置市記念日に、地域のコミュニティ活動に長年にわたりご尽力された方に感謝状が贈られました。

上八万地区
内海 健二様



徳島市生涯学習推進
協議会表彰受賞

令和四年十一月七日、生涯学習推進事業・ふれあい教室・すくらむ学級の運営と新興にご尽力された方の表彰式が行われ、上八万コミュニティ協議会からは三名の方が表彰されました。

生涯学習推進連絡協議会
元木 謙一様



ふれあい教室
宮本 静江様
すくらむ学級
長尾 敬子様



敬老会

令和四年度の上八万敬老会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、残念ながら中止になりました。

該当者の方に記念品を配布し、尚、百歳と九十歳を迎えられたお祝いといたしまして、ささやかですが記念品をお贈りしました。

一日も早くコロナウイルス感染症が終息し、また皆様と元氣にお会いできる日を役員一同心待ちにしております。

ふれあい教室
すくらむ学級

今年、
①長尾先生による防災研修会「いざという時の備え」
②「笑いヨガ」ふれあい教室、すくらむ学級合同で行いました。
新年度は皆さんと一緒に楽しく笑って行事が出来ますようにと願っています。



墨彩画教室

宮本静江

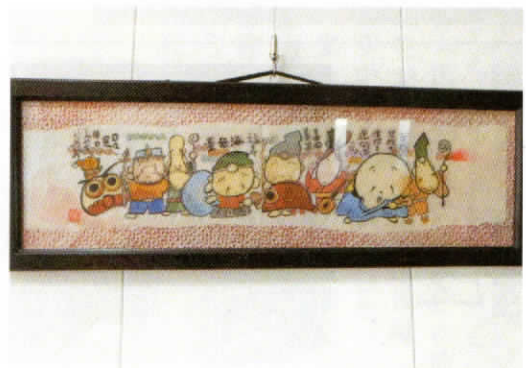


昨年から始めた墨彩画教室も、文化祭に作品を出展出来るまでになりました。

年中行事とお地藏さん、季節の花々とお地藏さん等とても楽しく描いています。皆さん挑戦してみませんか。

- ・参加費は材料費のみです。
- ・講師は福山彩虹先生です。
- ・毎月第二、第四木曜日 九時半〜十一時半
- ・場所 上八万コミセン
- ・皆さんの御参加を心よりお待ちしております。

いきいき百歳体操教室
メンバー募集



・コロナに負けないように元気で長生きできますように

- ・体操を通して体力を保ち免疫力アップにもつながるように
- ・みんな集まれ
- ・めげせ百歳
- ・毎週火曜日 午前十時〜
- ・上八万コミセン集会室

上八万文化祭・コミセン三十二周年記念祭

令和五年二月五日(日)文化祭が三年振りに開催されました。今回は、コロナ

ウィルス感染予防のため延期していた上八万コミセン三十二周年記念祭も同時に開催され、久し振りのビッグイベントでしたので、会場内は大勢の人で大いに盛り上がりました。

模擬店では、うどん、たこやき、ぜんざい、フランクフルト、お赤飯、おすし、野菜、くじ引き他色々。またジャンケン大会では、子供達の長蛇の列が出来ていました。

辻堂では小中高校生による書道パフォーマンスが行われたり、児童館内ではバザー、生け花、子供達の作品などが展示されました。コミユニティセンター集会所では、いちご、菜の花、米の農産物品評会表彰式が行われました。



品が贈られました。

その後、上八万音頭などの演芸があり、三十二周年記念の椿欣也ショーも開催されました。徳島市出身で歌手役者として活躍されている椿欣也さんが歌と芝居を披露されました。会場は椿さんを一目見ようと集まった人で満員となり、惜しめない拍手が送られていました。

最後にお楽しみみの空くじなしの福引大会では大歓声があがりとても盛り上がりました。



楽しい楽しい

大餅つき大会

早朝から、宮本(副運営委員)餅つき隊長の「心のこもった餅をみんなに」の合言葉の中、岡体協会長・大門青少年防犯幹事を中心に、餅つきがスタートした。ペッターン、ペッターンと掛け声の中、熱々の餅がつきあがると「まっつきました」と女性スタッフがおいしい餅にしてい。さあ、ここから、無料の餅くばりが始まる。みんなの嬉しそうな笑顔がコミセンじゅうに広がる。



みんなの嬉しそうな笑顔がコミセンじゅうに広がる。次々に餅を付いてゆく中、町内会の会長さんや、若いお父さんも一緒に汗を流しながら、餅をついてくれた。まさに上八万はファミリーだと確信した。いよいよ、ファイナルだ。みんなに餅を配ってくれた、加村市会議員・徳島市社会教育課(地元)の伊東課長そして、我らの阿部コミユニティ会長の3人でのスペシャル餅つきが開始され、みんなから、「ありがとう」の声援のなか、餅つきが終わった。

上八万地区 地域自主運行バス



早、四年目を迎えました。地域住民が運行するコミュニティバスのつたろうは、皆様に乗って頂いているお陰で、順調に走っております。令和四年もイベントとして、記念品を配り、バスのピーアールを行いました。五月よりルートを変更し、念願のマルナカへ（新浜）まで行ける事になりました。また運賃も片道百円と変更し、大変喜んでいただいております。

しかし、このバスを運行するにあたっては、地域から頂いている協賛金・寄付金

と運賃収入だけでは運営できませんので、国と市からの援助（経費の約8割）が不可欠です。

国と市からの援助を継続してもらうためには、利用者数が必要となります。そこで皆様にお願ひですが、このバスをずっと走らせていきたいと思ひますので、ぜひ、「のたろろ」に乗ってください。

最近ではよく他地区から、「上八万はコミュニティバスがあつていいなあ」とのお声をいただきます。徳島新聞社からも「その後、コミュニティバスはどうですか？」との問い合わせもいただい



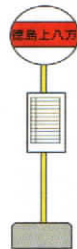
ております。皆様、コミュニティバスに大変興味があるようです。

まだまだ徳島市では、コミュニティバスの運営は、手探りの状態ですが、地域の皆様の足になれるよう頑張りたいと思ひます。

寄付金・協賛金を頂いております方々に心より感謝申し上げます。

令和四年七月三十日、上八万コミュニティセンターにおいて「いざというときの備え」と題して防災研究会を開催しました。新型コロナウイルスの感染の急拡大に加え、連日の猛暑にも関わらず、たくさんの方々に参加いただき、あらため

防災研修会



て災害対策の意識と関心の高さを感じました

講演では、日頃からの体調管理の大切さ、また常備薬を写真に撮って持ち歩くことでのいざという時の備えになる等、わかりやすく話していただきました。

また令和四年十月五日、上八万コミュニティセンターにおいて、上八万小学校四年生を対象に防災学習会を行いました。防災倉庫の見学や物資配布訓練などを行いました。子どもたちは、熱心に話を聞いていました。



学遊塾

コミュニティ協議会・児童館合同で六月に「プラバンのキーホルダー」を作りました。プラスティックの板に好きな絵をかき、オーブンで焼いて仕上げるプラバンは大人気でした。九月には祖父母にプレゼントするために、牛乳パックと和紙を使って、世界で一つだけの「診察券入れ」を作りました。一月には「書き初め」をしました。初めて筆を持つ子もおり、大きな紙に苦戦しながらも力強い作品に仕上げていました。作品は文化祭に飾らせていただきました。参加者はすべて合わせて一二九名でした。



上八万児童館

最近児童館では、午前の乳幼児親子、午後の小学生とも利用者がコロナ以前まで戻ってき、一日中子ども達の声が響き渡っています。

また、クリスマス会や文化祭といった大きな行事も復活することができ、うれしく思っています。

児童館は0歳から十八歳までのだれもが無料で利用できる

学童保育

「ただいま」子どもたちの元気な声で上八万学童保育クラブの一日が始まります。子どもたち・支援員共にみんな明るく、とても元気いっぱい

です。学童、男女を越えてみんな仲良しな子どもたち。天気の良い日には、校庭へ行き、ドッジボールやサッカーなど賑やかな声が響いています。そし

る地域の中の子育て支援施設

で、原則午前は乳幼児親子、午後は小学生が優先で遊べます。今年度は特に児童館の特徴をいかし、小学生と乳幼児の合同プログラムや地域とコラボした行事を行いました。

『びよびよちゃんとお遊ぼう』では秋祭りごっこのお店屋さんを小学生に担当してもらいよい交流ができました。

『お出かけ美術館』ではコ



て、子どもたちは遊びを通してどんどん成長しています。もちろん喧嘩もありますが、どうすればみんなが仲良く遊べるかを自身で考える姿もあります。

子どもたちは、心も感性豊かに、身体も元気もりもり

成長しています。これからも児童、保護者、支援員が共に成長できる温かい仲間づくりを目指します。

「ただいま」と元気に帰っ

達も大喜びでした。

今後も児童館では、すべての子どもや親子が楽しく安心して過ごせる居場所作りを目指します。



てくる楽しい居場所・特別な場所でありたいと思います。



生花教室 岡 秀子

只今、子どもも、大人も、花育中です。「楽しいナア」「その赤い花、私も生きたい」「いいよ、わけたげる」低学年の子とも達がワイワイ楽しそうに生けているそばで、高学年の子は、「この枝どう生けよう」「曲った枝ないかなア」と試行錯誤しています。それぞれに感性を磨き、心優しい大人になってほしい。と願いつつ、おばちゃん達も、楽しくお稽古しています。大人になっての教育は「今日、行く所がある」教養は「今日、用がある」だと、ある講演会で教わりました。コロナ禍で、外出も控えめですが「今日、行く所がある」人になって、生花教室をのぞきに来て下さい。土曜日の午前十時からお稽古しています。お待ちしております。



日本舞踊「育の会」

吉本ヒサエ

「育の会」は、雁音 育（かりがね いく）先生のご指導で月曜日の夜にコミセンでお稽古をしています。雁音流は、歌舞伎役者の中村扇雀氏がお家元で、徳島を本部としています。

上八万お稽古場では現在、子ども六名、大人六名でお稽古をしています。日本舞踊は頭と身体の健康は元より心も豊かにしてくれます。お子さまの情操教育にも大人の健康促進やボケ防止にも十分期待できます。また、育の会では、年末に育先生の門下生が一同に集まって一年の成果を発表する「おさらい会」があります。その他、今年は、お家元が出演する姫路城での中村座の歌舞伎に本部からバスを仕立てて鑑賞に行く催しもあります。

ご興味がございましたら、是非、お気軽に月曜日のお稽古時間（午後四時～八時）にコミセンへお立ち寄りください。



上八万地区自主防災連合会役員
(順不同・敬称略)

役職名	氏名
会長	阿部 増江
副会長	川人 泰博
副会長	富岡 治美
副会長	相田 伸二
副会長	武岡恵美子
副会長	内海 健二
監事	山本 昭彦
監事	馬場 利清

上八万バス運営委員会役員
(順不同・敬称略)

氏名
加村 祐志
平山 功
川人 泰博
内海 健二
宮本 英雄
三木 敏之
川人 玲子
竹内 和美
阿部 増江

上八万コミュニティ協議会役員・運営委員 ※各名簿
(順不同・敬称略)

役職名	氏名	職歴
顧問	山田 豊	徳島県議会議員
顧問	加村 祐志	徳島市議会議員
顧問	田上 尚	上八万小学校校長
会長	阿部 増江	上八万コミュニティ協議会会長
副会長	平山 功	上八万環境保全協議会会長
副会長	川人 泰博	上八万コミュニティ連合協議会会長
副会長	馬場 利清	上八万社会福祉協議会会長
副会長	長尾 博志	上八万町内会連合会副会長
副会長	岡 和博	上八万体育協会会長
副会長	内海 健二	上八万運営委員会委員長
副会長	粟田 晋也	上八万小学校PTA会長
副会長	藤本美恵子	上八万児童館館長
監事	相田 伸二	上八万交通防犯推進協議会会長
監事	河上 周二	上八万消防団副団長
監事	川人 玲子	上八万運営委員会副委員長
監事	宮本 英雄	上八万運営委員会副委員長
監事	三木 敏之	上八万運営委員会副委員長

氏名	地区
青木 隆司	西地
立道 和明	田中
佐々木 強	花房
武市 慧治	星河内
佐藤 眞治	東山
佐藤 初美	樋口住宅
富岡 治美	大木
大谷 政男	大木団地
小谷 智司	下中筋団地
元木 謙一	明善
仁木 安雄	樋口
小川 秀喜	道原
小川日出雄	日比宇
長尾 博志	上中筋
宮本 英雄	川北
轍 博文	川西
森本 佳広	中山
馬場 利清	西山

上八万運営委員
(順不同・敬称略)

氏名	地区
青木 隆司	西地
立道 照久	田中
三木 敏之	花房
英 美弥子	花房
河上富美栄	星河内
佐々木恵子	星河内
大門寿恵子	樋口
竹内 和美	樋口
黒川 育子	樋口
堀井 常子	樋口住宅
村島八重子	東山
内海 健二	道原
元木 敏浩	日比宇
中西 吟子	下中筋団地
元木 謙一	明善
川口香代子	明善
脇谷 充	大木
中林 凱子	大木
大谷 政男	大木団地
河野 実	上中筋
大滝 雅章	上中筋
松本 静子	上中筋
宮本 英雄	川北
川人 玲子	川北
川西 英器	川西
杉本 和美	中山
片山 弘美	中山
村上 廣子	西山
瀧下 敬子	西山
奥田 洋子	西山



令和四年度を振り返って

令和二年頃からコロナウイルス感染が始まり、はや三年の月日が流れました。コロナの影響は、まだまだやまずで、二十歳を祝う会の式典は開催出来ましたが、茶話会は中止でした。今年からこの「成人式」という名称は、徳島市が「二十歳を祝う会」という名称に変更いたしました。ですから「成人式」という名称は無くなりました。

また、長年なじんでまいりました「公民館」と「まちづくり協議会」は統合し、四月からは、「上八万コミュニティ協議会」と名称を変更し新たに進んでいます。今年の夏祭りは中止とさせて頂きました。

敬老会も式典は中止、記念品を地区運営委員さんに配って頂きました。

コミセンの利用もコロナ前に戻りました。

長年の目標であった「コミュニティセンター」三十周年記念祭はコロナの為に二年間のびましたが、令和五年二月五日(日)創立三十周年祭を行う事ができました。これもみな町内の皆様方のご協力のお陰です。ありがとうございます。

令和四年度には、「防災避難マップ」も徳島大学田村准教授のご指導により、町内会長さんを中心に作成いたしました。皆様、地域で役立ててください。

世界を見ますと、令和四年度は戦争や大災害に見舞われた年でした。時は流れ行きます。また、新しい目標に向かって皆様にきて頂ける、明るい楽しいコミュニティセンターにしたいと思えます。

編集後記

「広報かみはちまん」に原稿をお寄せ下さった皆様、ありがとうございます。また、いろいろな面でご協力いただきました皆様、感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。



編集委員

- 内海 健二・宮本 英雄
- 元木 謙一・川人 玲子
- 河野 実・三木 敏之
- 河上富美栄・阿部 増江
- 松本 光代

